



ジェンダーの研究をして
いると必然的に男女の恋愛
心理も絡んでくる。
恋愛も各種研究が行われ
ていて論文になると難しい
が、内容は非常におもしろ
い。
演歌の世界では、男性に
対して女性は耐え忍びなが
ら献身的に尽くす、という
歌詞が多い。しかし各研究
結果を見ると、恋人に献身
するのは女性より男性の方
で、失恋後に抱く未練も男
性の方が強い。つまり男性
が演歌を好むのは、現実で
はかなえられない理想の女
性を投影しているとも言わ

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

れている。
恋愛のスタートは自分と
何らかの類似のある人間に
興味を抱くところから始ま
る。そして、甘えん坊と寂
しがりや仕切りタイプにお
任せタイプと、互いの相補
性がうまくかみ合うと、よ
り親密な関係になってい
く。このことが、似たもの
カップルと
か二人でひ
どつ」と言わ
れるゆえんで
ある。
言葉も「僕」「私」から
「僕たち」「私たち」に変
わっていき、共通の利害を
求めあっていく。
また、男性は女性より早
く恋に落ち、良くも悪くも
恋から醒めるのが遅いとい
う。男性は恋を得るプロセ
スに、女性は恋を得て安定
した時に、至上の喜びを感

恋愛の始まりと終わり

じる。そうなると思激に上
がった男性の恋愛感情は途
中から女性の恋愛感情と逆
転してしまい女性側から物
足りなさが表出してくる。
釣った魚に餌をやらないで
はないが、男性がうまそう
のギャップを埋められず、
関係に安心してしまうと、
女性側から突然の別れを切
り出され、びっくりするこ
とになる。
関係の崩壊が始まってく
ると、負の言葉が多くなり、
相手の言葉がうまく解説で
きなくなってくる。つまり
あ・うんでの「コミュニ
ケーションが難しくなる。
さらに悪くなると、満足足
もたらない言動をやめ
て、相手との齟齬を避け境

界をおき、個々の活動を強
め、互いの働きかけを低減
させていく。家庭内別居も
このパターンである。
別れの主導権も女性が握
っている場合が多いという
結果も出ている。関係が続
くカップルは、当たり前
ことだが二人の関係に満足
して、もしも別の恋人

愛を維持できるというこ
だ。
女性はI O V EとT I K
Eをはっきりわけている
が、男性はあまり区別がな
い。そのため女性の「好き
だから、いいお友達でいま
しょうね」はI O V Eでな
い(恋人になれない)と言
っているのが、男性からは
断りには取ら
れずにもめる
ことになる。
これらの研
究結果から感じるのは、男
が浮気者で気持ちも移ろい
やすく、女性は泣かされる
と言われているが、昨今は
ハレムも大奥も一夫多妻
も過去のものになり、女性
の急激な社会進出に伴い男
女関係が大きく変化してい
っているのかもしれない。
ジェンダーの研究は奥が深
い。